

科目名	ゲーム開発A							年度	2025
英語科目名	Game Development A							学期	前期
学科・学年	ゲームクリエイター科四年制 ゲームプランナーコース 2年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	山田 健太	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ゲームプランナー・ディレクター		
【科目の目的】									
短期間のゲーム制作を繰り返し、ゲームデザイン能力を身につける。									
【科目の概要】									
1年次に学んだC言語、C++を使って、短期間で少人数チームでのゲーム開発を行う。 ゲーム制作に慣れると同時に、ゲームデザイン能力を身につける。 ゲーム開発B、ゲーム開発Cとの連携授業。									
【到達目標】									
C言語、C++を使って、小規模のゲームを複数完成させる。 基本となるゲームシステム（挑戦）とその派生バリエーション（幅）というゲームデザインの基礎を徹底させる ゲームの手触りであるリアクションにこだわる									
【授業の注意点】									
チームでの円滑な作業を実現するため、欠席・遅刻は厳禁である。授業時限数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができないので注意すること。共同作業となるため、コミュニケーションは欠かせないが、不要な私語、座席移動は厳禁とする。学校から機材を借りる場合は必ず、教員もしくは教育補助員の許可を得ること。ネットワークの使用は制作に必要な研究、素材収集の用途に限定する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	2つの優れたゲームをを締め切りを守って完成させた		2つのゲームを締め切りを守って完成させた			ゲームを完成させられなかった			
到達目標 B	ゲームデザインを理解したうえで、さらに個性を上乗せできる		ゲームデザインを理解し、「面白い」を再現できる			ゲームデザインを理解できていない			
到達目標 C	個人でゲームを作ることができる実装力を身に着けている		プログラム、デザイン作業を個人で行うことができる			プログラム、デザインの能力が基準に達していない			
【教科書】									
なし									
【参考資料】									
オリエンテーション時に資料配布。以降、随時配布。									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験・課題(80%)：課題を総合的に評価する 平常点(20%)：積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ゲーム開発 A				年度	2025
英語表記		Game Development A				学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	企画①	小規模チーム制作の企画を考える	1	オリエンテーション	授業の内容と目的を理解する	3	
			2	企画立案	チームで企画を出し教員の承認を得る		
			3	仕様書作成	作成するゲームの仕様書を作成する		
2	α 版①作成	α 版を制作する	1	プログラム作業	仕様書に沿いプログラム作業を行う	3	
			2	デザイン作業	リソースを自作する		
3	α 版①作成	α 版を制作する	1	プログラム作業	仕様書に沿いプログラム作業を行う	3	
			2	デザイン作業	リソースを自作する		
4	β 版①作成	β 版を制作する	1	プログラム作業	仕様書に沿いプログラム作業を行う	3	
			2	デザイン作業	リソースを自作する		
5	β 版①作成	β 版を制作する	1	プログラム作業	仕様書に沿いプログラム作業を行う	3	
			2	デザイン作業	リソースを自作する		
6	マスター版①作成	マスター版を制作する	1	プログラム作業	仕様書に沿いプログラム作業を行う	3	
			2	デザイン作業	リソースを自作する		
7	企画②	小規模チーム制作の企画を考える	1	オリエンテーション	授業の内容と目的を理解する	3	
			2	企画立案	チームで企画を出し教員の承認を得る		
			3	仕様書作成	作成するゲームの仕様書を作成する		
8	α 版②作成	α 版を制作する	1	プログラム作業	仕様書に沿いプログラム作業を行う	3	
			2	デザイン作業	リソースを自作する		
9	α 版②作成	α 版を制作する	1	プログラム作業	仕様書に沿いプログラム作業を行う	3	
			2	デザイン作業	リソースを自作する		
10	α 版②作成	α 版を制作する	1	プログラム作業	仕様書に沿いプログラム作業を行う	3	
			2	デザイン作業	リソースを自作する		
11	β 版②作成	β 版を制作する	1	プログラム作業	仕様書に沿いプログラム作業を行う	3	
			2	デザイン作業	リソースを自作する		
12	β 版②作成	β 版を制作する	1	プログラム作業	仕様書に沿いプログラム作業を行う	3	
			2	デザイン作業	リソースを自作する		
13	β 版②作成	β 版を制作する	1	プログラム作業	仕様書に沿いプログラム作業を行う	3	
			2	デザイン作業	リソースを自作する		
14	マスター版②作成	マスター版を制作する	1	プログラム作業	仕様書に沿いプログラム作業を行う	3	
			2	デザイン作業	リソースを自作する		
15	マスター版②作成	マスター版を制作する	1	プログラム作業	仕様書に沿いプログラム作業を行う	3	
			2	デザイン作業	リソースを自作する		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							